

祝卒業



桃の花咲く春に誓った
 一つの道を共に歩むと
 勇気をもって挑んでいこう
 望みの先へ進んでいける
 この学び舎 出会ったあの日
 友の夢と笑顔 温かな声
 今輝く集いし心
 咲き誇るこの絆 いままでも続く
 命の恵み 山河に誓う
 立ち止まらずに己に克つと
 努力の汗は美しいもの
 互いを思い優しくあろう
 桃が笑り喜び満ちて
 友と語る未来 明日への力
 日々の歩み 尊い学び
 ひとり立ちの日まで いままでも清く
 東雲色に広がる空へ
 桃花台 希望の道 どこまでも続く

チャレンジ 桃花台
Vol.9
 2018/3/26

CHALLENGE
 Tokadai

2018/03/02 第3期卒業生33名が、社会へと巣立っていきました。

校長室

本校開校からまもなく四年目を迎
 えようとしています。私自身も初代
 校長として三年間勤務しました。開
 校前の準備期間を含めると四年間
 なりませんが、これまでの教職経験の
 中で最も心に残るであろ
 う貴重な時間でした。



『一日一日を大切に』

高等支援学校桃花台学園 校長 宮下 誉夫
 Takao Miyashita

が行われました。卒業式後、ある来賓の方
 に、「他の学校の卒業式にも出席したことは
 あるが、桃花台学園の式の中の校歌は格別
 だ。」と褒めていただきました。その一言で
 その日の疲れや緊張が一気に吹っ飛んだ気が
 しました。歌の力はもろろんこの
 と、立派に役目を果たしてくれ
 た生徒や教職員、そして学校自
 体を褒められたようにも感じま
 した。

ところで、校訓の最後の一文、「一日一日を大切に」を敢
 えて組み込んだ理由（こだわり）
 を改めて述べたいと思います。ホームペ
 ージにも掲載してありますが、毎日の積
 み重ねを大切にしながら頑張りたいと
 いう願いと、一つ一つ集中してやり遂
 げ、次のステップにつなげて欲しいとい
 う願い、今ある時間を大切に過ごすこ
 とには、自分の人生を豊かにするのだ
 というメッセージも込められています。

最後になりましたが、年度末人事異動により高等学校へ転出する
 ことになりました。学校運営として
 は道半ばではありませんが、赴任先
 においても校訓の精神、特に「一日一
 日を大切に」を胸に残りの教職生活
 を全うしたいと考えております。本校
 は、発展途上ではありますが、個々の
 生徒の頑張りと教職員の熱意ある指
 導・支援、そして保護者の皆様や地
 域・関係機関の方々のご支援・ご協
 力のかけで、ここまでやってこられま
 した。この場をお借りし、御礼申し上
 げます。誠にありがとうございました。

『桃花台 希望の道 どこまでも続く！』

私は本校の校歌が好きです。

優しく始まる前奏を聴いている間に何やら
 感情が高まり、例えば夏休み明けの始業式だ
 というのに、ワンコーラス目の歌い出しで既
 に涙がこみ上げて声が震えているという状態
 です。学校担当指導主事として初めて参加し
 た平成27年度の卒業証書授与式では、涙が



『校歌に想う』

高等支援学校桃花台学園 教頭 佐田 弘和
 Hirokazu Sada

こみ上げて歌うことができませんでした。今年度の卒業式は下腹に力を入れ声を振り絞り、最後まで歌い切ることができました（笑）。

歌詞の中には「望みの先へ進んでいける」「立ち止まらずに」「互いを思い優しくあろう」「明日への力」「尊い学び」「ひとり立ちの日まで」など私が好きなくつかのキーワードがあります。歌うたびにこの歌の中に込められた様々なメッセージと生徒たちの学校生活やこれからの人生がオーバーラップします。

自分の立場から子どもたちに伝えたいことがたくさんありましたが、伝えきれなかったことばかりでした。落ち込んだり迷ったり悩んだりしたときはこの歌を思い出してほしいと強く思っています。

「東雲色」とは、夜が明け始めるころ太陽で白み始める東の空を思わせる明るい黄赤色のことです。柔らかな色彩の中にこれからの希望や可能性が立ち満ちています。いずれは学校生活を終え、人生の新たなステージに登っていく青年たちが、「希望の道」をどこまでも進んでくれたらと想う今日この頃です。



CHALLENGE
 Tokadai
 第9号 平成30年3月26日発行

山梨県立高等支援学校桃花台学園
 〒406-0026 山梨県笛吹市石和町中川1400
 TEL 055-263-7760 FAX 055-263-0741
 URL <http://www.toukadai.kai.ed.jp/>

その半年後、校訓にちなんだ歌詞を散りばめた校歌が完成しました。歌手の神部冬馬さんによるこの校歌は、地元TV局に取り上げられ、話題に上りました。第一回卒業式での初披露は、私がこれまで味わったことのない感慨深い校歌になりました。私はこの校歌制定にも携わりましたが、この歌詞の中で特に好きな一節があります。「桃花台 希望の道 どこまでも続く」です。実際に歌ってみるとかなり高音なので私にはきついのですが、「希望を持って突き進めば道が開かれるんだよ」と言っているように聞こえます。

さて、この三月二日に本校三回目の卒業式

2年生 先輩の体験談を聞く

今が大切な時期と実感

3月2日卒業証書授与式が執り行われ、3年生33名が桃花台学園を巣立っていきました。その一週間前、2年生の「職業」の授業に3年生の生徒と先生が出向き、『3年生が体験談を話す』という内容の授業を行いました。進路が最終的に決まるまで（採用されるまで）の具体的な流れや、進路が決まるまでの3年生の体験談や気持ちを2年生に伝えるという授業でした。

普段の授業とは少し違う雰囲気の中、2年生は緊張しながらも興味深く先生や先輩の話聞いていました。中には、熱心にメモをとる生徒もいました。

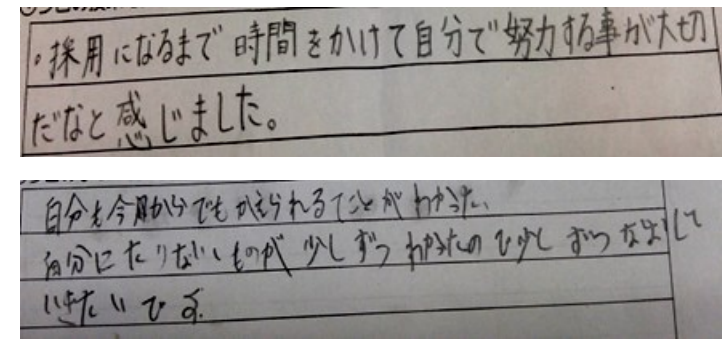
授業の中では、会社に提出する「調査書」や「履歴書」の説明を受けました。また、採用されるには、普段の生活や授業の態度が直結しているということを知りました。またどのような人材を求めているのかという会社側の声や先輩達が採用された決め手を聞き、自分が「やりたい」という希望だけでは、会社に採用されないのだという現実を目の当たりにしました。

先輩達の体験談では、自分に合う職場がなかなか見つからず、何度も臨時の現場実習をしてようやく採用されたこと、不採用になって別の会社に再チャレンジしたこと、1年生の現場実習で自分に合った場所を見つけ、そのまま採用されたこと、就職するためには自分を変えなければと気づいて一念発起し、努力を重ねて自分の課題を克服したこと…と、先輩達の採用・不採用のリアルな話を聞きました。2年生は、先輩達一人一人違う進路決定までの道のりと、表面には見えなかった努力や苦労があることを知り、今まさに自分たちが大事な時期にいるのだということを実感したようです。

3年生の就職が決定

一般企業への就労率は85%!

3年生全員の進路が決定しました。1年間をとおして、今年度は全県一区の学校として現場実習等の就職活動を実施し、就職先は、県内10市町村、東京都、愛知県にまで就職先が広がりました。3年生の現場実習は、通常1~2か所、多い生徒で4か所で行いました。年末年始も実習に取り組んだ生徒もいます。生徒一人一人が強い意思をもって手にした就職先だと思しますので、これからは社会人として一生懸命働いて、自分の夢を叶えてもらいたいです。



授業後の2年生の感想

種別	職種等	就労先名	人数	勤務地
企業 就労	機械製造	(株)協和富士	1	上野原市
		コニカミノルタオプトプロダクト(株)	1	笛吹市
		アイシン・エイ・ダブリュ(株)	1	愛知県安城市
		THK(株)	2	中央市
	食品製造	(株)中村製作所	1	甲府市
		ニューロン製菓(株)	1	甲府市
		(株)シミズフレッシュデリカ	2	甲府市
		(株)カナエフーズ	1	富士吉田市
		ちぼりキネヤ(株)	1	甲府市
		ちぼりアンナ(株)	1	韮崎市
レストラン ファスト フード	神州一味噌(株)	1	上野原市	
	(株)リバーサイドコーポレーション(マクドナルド)	1	甲州市	
	(株)ワンフォーワン(マクドナルド)	2	富士吉田市	
	(株)豊昇(マクドナルド)	1	八王子市	
	(株)サイゼリヤ	2	昭和町 立川市	
清掃	(株)甲府キンダイサービス	1	甲府市	
	甲府ビルサービス(株)	2	甲府市 笛吹市	
	(株)セラヴィリゾート泉郷	1	北杜市	
農業	(株)NSD八ヶ岳ファーム	2	北杜市	
	物流	ピップ物流(株)	1	甲府市
福祉	介護	社会福祉法人 ひかりの里	1	甲府市
	就労継続支援A型	ワークコート大和	1	甲州市
福祉 就労	就労移行支援	グローブ	1	北杜市
	就労移行支援	けやき園	1	富士吉田市
福祉 就労	就労移行支援	勝沼授産園	1	甲州市



三月二日、春の訪れを感じる良き日に、平成二十九年卒業生、三十三名が無事、本校を巣立つことができました。

これまで、温かく見守ってくださった実習先の皆様、保護者の皆様、そして、各関係機関の皆様にご厚く御礼申し上げます。

三十三名は、本校開校から三周年学んだ「桃花台生」として卒業を迎えました。遠くは上野原市、北杜市、南アルプス市など全県下から通学してくる学年でもありました。また、寄宿舎一期生でもあり、様々な面で注目されました。いろいろな思いを抱きながら、本校の開校式に臨んだことを思い出します。

卒業までの道のりは、決して平坦なものではありませんでした。友達関係に悩む生徒、なかなか自分の進路が決まらず不安定になる生徒、学校の規則が守れず指導を受ける生徒など、それぞれが自己を見つめながら過ごした三年間だったように思います。

そのような日々の中、生徒達の成長を感じたのは、最後の「桃翔祭」でした。色別の系列リーダーとして活躍する生徒、模擬店で自分の役割を理解し積極的に取り組む生徒など、「最高学年としての自覚が見られるようになった」と感じさせてくれることが多くありました。

さて、いよいよ四月から社会人です。自分の選んだ道において、しっかりとその一歩を歩み出してほしいと思います。「挑戦・克己・自立」桃花台学園で培った力を糧に自信をもって頑張りたいと思います。そして、その頑張りが評価され、後輩達の道標となることを願っています。



卒業を祝して

3学年主任 石原 昌志
Masashi Ishihara

春休みを迎えるにあたって

生徒指導部より

春休みは、四月からの新年度への決意や希望をはぐくむ大切な時期であるとともに、気持ちが開放的になる休みでもあり、過ごし方を間違えると問題行動や大きな事故などにもつながる危険性もあります。そのため、しっかりと生活習慣を継続することを啓発しています。

また、外出する機会が多くなります。「山梨県青少年保護育成のための環境浄化に関する条例」第十一条には「保護者は、特別の事情のある場合のほか、深夜（午後十一時から翌日の午前四時までをいう）に青少年を外出させないように努めなければならない」とされ、青少年の深夜外出は条例で禁止されています。

日中の外出時も、交友関係や帰宅時間などを保護者が把握し、深夜徘徊や問題行動につながるような、十分注意・指導する必要があります。

また、思春期の子どもたちの心の変化や、シグナルを日頃の生活の中で感じ取ることが重要です。例えば、外出が多い、部屋に閉じこもる、暴力的になる、ゲーム・ビデオ・スマホなどへの異常な執着など、様々なシグナルが現れま

す。これらを敏感にキャッチし、不安な点があれば保護者、学校、児童相談所、警察などが密に連携することが問題の深刻化を防ぐ方法です。

春休みを安全に過ごして、新しい一年のスタートをスムーズに切りたいものです。



ルールを「FRIENDLY」に

- 平成三十年度用「生徒心得」ができました。校則に三つの変更があります。
- ①「靴下」のワンポイント
↓規程が少し緩くなりました。
 - ②「アルバイト」
↓許可条件が広がりました。
 - ③「運転免許取得書類」
↓提出方法が変わりました。

学校ではいつもルールを守ることの大切さを繰り返し説いていますが、時には息苦しさを感じることもありますが、皆がルールをしっかりと守ることにより、『規律の枠組みの中の自由』が広がることは確かです。その積み重ねが社会での規範意識や自律する心を育てていくのだと思います。